

The background features a stylized illustration of a tree with a white trunk and a dense, white, cloud-like canopy. The sky is a gradient of light blue to white, with two white birds in flight in the upper left corner. The lower portion of the image has a red-to-white gradient background with a subtle pattern of small white dots.

# 「地域密着型金融の推進」

～取組み実績と金融仲介機能のベンチマーク実績～

2019年度（2019年4月1日 ～ 2020年3月31日）

2020年10月



十六銀行

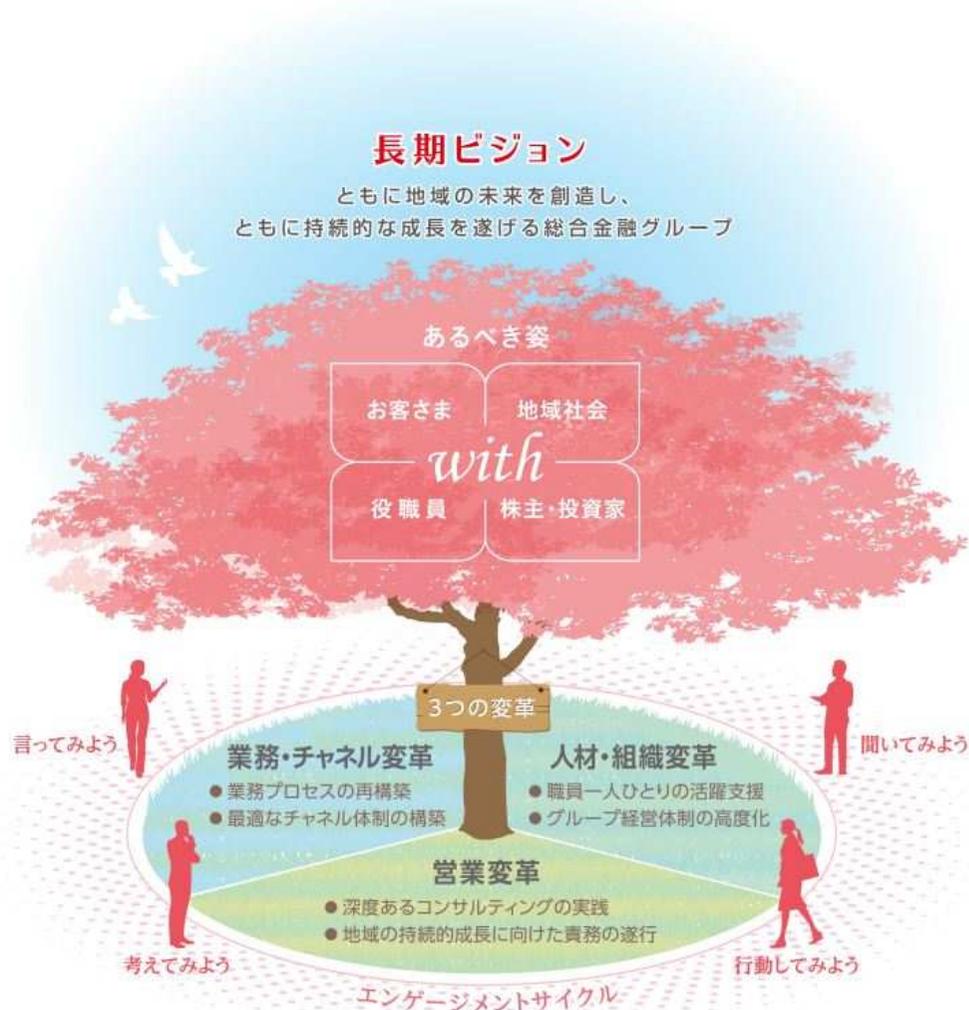
東証一部・名証一部（8356）

# 地域密着型金融の推進と金融仲介機能のベンチマーク

2016年9月に金融庁より「金融仲介機能のベンチマーク」が公表され、地域金融機関は、取引先企業の事業の実態をよく理解し、企業の価値向上等に資する融資やコンサルティングなどを通じ、適切な金融仲介機能を発揮することが求められています。

また、当行は2020年4月に開始した第15次中期経営計画において、取引先企業に対する深度あるコンサルティングの実践と地域の持続的な成長に向けた責務の遂行を重点施策としております。

当行は地域密着型金融を推進していくうえで、その取組みが有効に機能しているかを「金融仲介機能のベンチマーク」を活用して評価し、より良質な金融仲介機能の提供に努めてまいります。



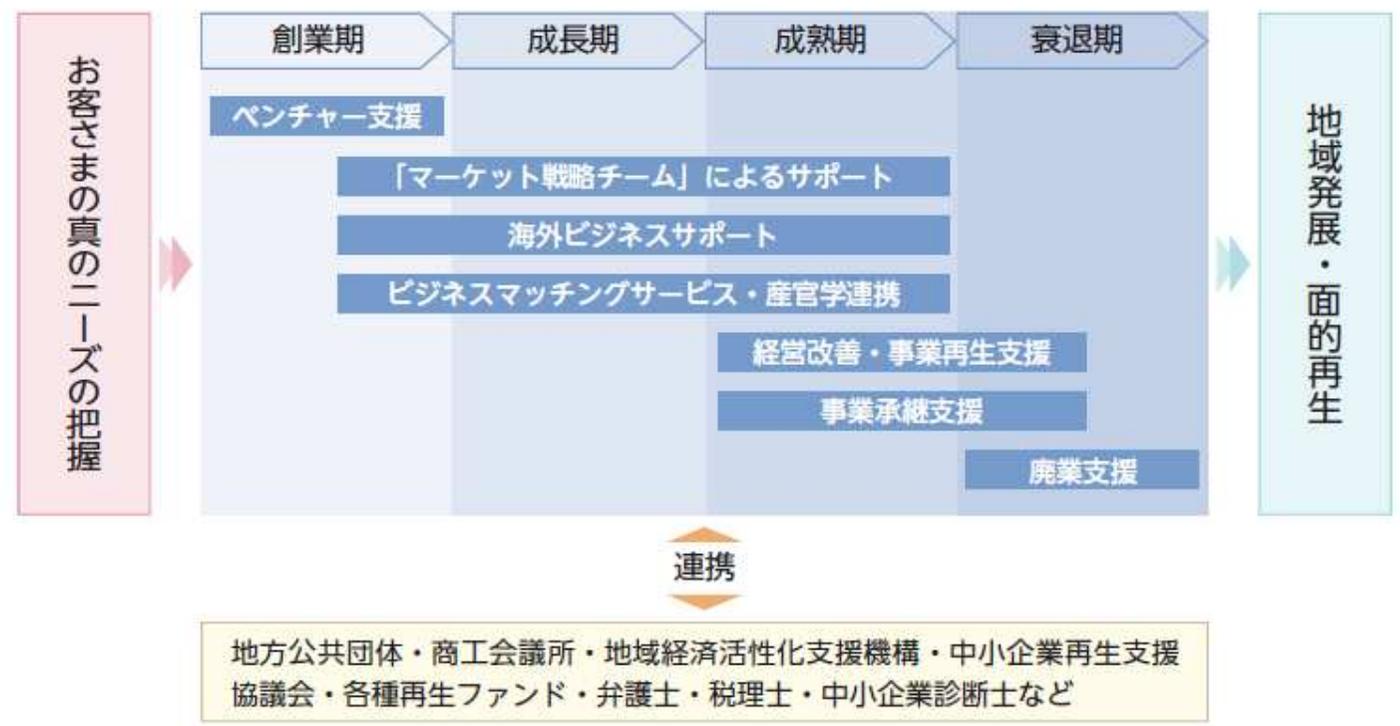


## 地域密着型金融の基本的な取組方針と中小企業の経営支援にかかる推進態勢

当行の地域密着型金融に対する基本的な取組方針

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した、持続可能な地域経済への貢献

### 中小企業の経営支援にかかる態勢





## 【創業期】創業・ベンチャー支援に関する取組み

### 支援機能・2020年3月期の取組み

- 十六銀行創業サポートデスク
  - 創業計画書の策定
  - 会社設立支援
- ベンチャー支援
  - 産学連携（岐阜大学等への仲介・斡旋）
  - 公的支援・資金調達サポート
- 制度融資・ファンド
  - じゅうろく創業応援ローン
  - 「じゅうろく六次産業化ファンド投資事業組合」
- NOBUNAGA 2 1
  - 「地域経済活性化セミナー」
  - 「NOBUNAGA ファーストステージ」
  - 「NOBUNAGA 2 1 Firstピッチ」

### NOBUNAGA 2 1 Firstピッチ

2020年2月、起業家・ベンチャー企業のビジネスプランを発信する機会を提供することを目的として、「NOBUNAGA21 Firstピッチ」を開催



「NOBUNAGA 2 1」とは・・・  
平成12年に発足した全国初の民間主導によるネットワーク型ベンチャー支援組織。  
運営メンバーは下記の3社で構成



NOMURA



### 【共通ベンチマーク No.3】

◆当行が関与した創業、第二創業の件数

### 【選択ベンチマーク No.16】

◆創業支援先数（支援内容別）

	創業支援件数	第二創業支援件数
2020年3月期	943件	7件

	創業計画策定支援	創業期融資（プロパー）	創業期融資（信用保証付）	創業支援機関等紹介	ベンチャー助成金等
2020年3月期	78先	482先	293先	6先	31先



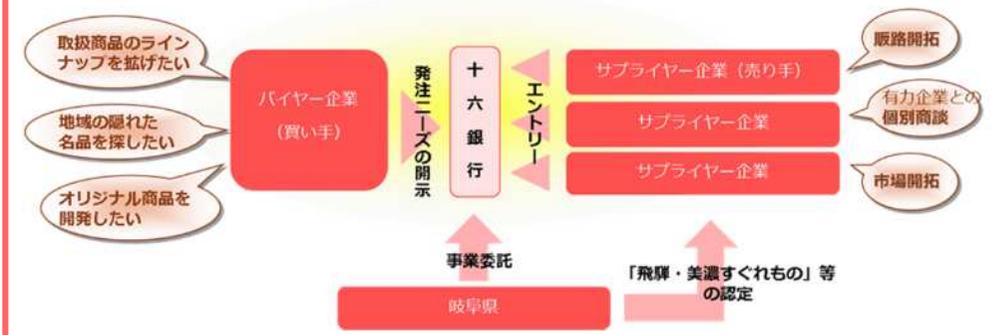
## 【成長期】販路開拓に関する取組み

### 支援機能・2020年3月期の取組み

- サプライヤー探索サービス（逆見本市商談会）
  - バイヤーのニーズ起点の商談により高い成約率
- 補助金・助成金サポート
  - 「補助金直前サポートセミナー」開催
  - 申請書作成の有償コンサルティングサービス（十六総合研究所への取次ぎ）
- 人材支援
  - 人材紹介事業（十六総合研究所）
- 外部連携
  - 産官学連携（13大学7公的機関）
- その他の商談会・セミナー開催
  - 「清流の国ぎふ 食と農の商談会2019」
  - 「消費税対応セミナー」

「サプライヤー探索サービス」は十六銀行の登録商標（第5910913号）です

### 「ぎふブランド」首都圏発信プロジェクト商談会 岐阜の地域産品を、「逆見本市型商談会」を通じて首都圏の有名企業に紹介。（2019年度商談会実績9回）



和傘の展示・販売



都内百貨店での催事



商談会風景

### 【選択ベンチマーク No.18】

◆地元・地元外別の販路開拓支援を行った先数

	地元	地元外
2020年3月期	164先	253先

### 【独自ベンチマーク】

◆サプライヤー探索サービスによる取引先の本業支援件数

	開催件数・延べ商談数
サプライヤー探索サービスの商談会開催回数	31回
サプライヤー探索サービスの延べ商談数	391件



## 【成熟期・衰退期】事業承継・M&Aに関する取組み

### 支援機能・2020年3月期の取組み

- 経営承継支援室
  - 事業承継計画の立案・自社株対策
  - ガバナンス強化（経営体制構築、資本政策）
- M & A 外部連携
  - M & A 業務広域プラットフォーム（Chance共同化行）
  - 「中部金融M & A ネットワーク」の開催

### 人材育成

- 関連資格の合格者数（2020年3月末現在）

資格名	合格者数
M & A シニアエキスパート	18名
金融業務2級 事業承継・M & Aコース	1,585名

### 経営承継支援室

当行では約20年以上前から法人業務グループ内に専任者を任命し、事業承継・M & Aサポートに取り組んできました。2019年3月からは、法人営業部内に新たに「経営承継支援室」を新設し、円滑な事業承継をサポートしております。



### 【選択ベンチマーク No.21】

◆事業承継支援先数

	事業承継支援先数
2020年3月期	220先

### 【選択ベンチマーク No.19】

◆M&A支援先数

	M&A支援先数
2020年3月期	463先



## 事業性評価ならび経営改善支援に関する取組み

### 支援機能・2020年3月期の取組み

- 事業性評価
  - 経営者との深い対話
  - 多視点による事業理解
  - 中期経営計画の策定
- 外部連携・セミナー
  - 中小企業再生支援協議会等との連携支援
  - 「成長ビジョン策定セミナー」開催
  - 官民ファンド活用による事業再生支援
- 制度融資
  - グロースローン
  - キャッシュフローファイナンス
  - じゅうろく資本性ローン

### キャッシュフローファイナンス

- (商品の特徴)
- 資金用途
    - 新分野進出
    - 事業転換
    - リファイナンス(借入構造見直し・資金繰り支援)
  - 返済期間・方法
    - 最長10年の証書貸付
    - 設備資金は最長25年
    - 返済据え置き期間の設定も可能

事業性評価を通じて、  
返済財源となる将来の  
キャッシュフローを特定

取引先の事業戦略や  
ニーズに適した金融支  
援を実現

### 【共通ベンチマーク No.5】

◆当行が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、及び全与信先数及び融資額に占める割合

	2020年3月末	
	与信先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている 与信先数及び融資残高	2,798先	4,670億円
上記計数の全与信先数及び当該与信先 の融資残高に占める割合	11.3%	20.4%

### 【選択ベンチマーク No.23】

◆事業再生支援先における実抜計画策定先数、及び同計画策定先のうち未達成先数とその割合  
(注)計画比80%未満を未達成としております。

	実抜計画 策定先数	うち未達成先数	未達成先の割合
2020年3月末	31先	11先	35.5%

# 地域の情報収集を活用したまちづくり



## メザニン融資や出資等により地域の活性化（まちづくり・にぎわいの創出）に貢献

### じゅうろく・岐阜市まちづくりファンド

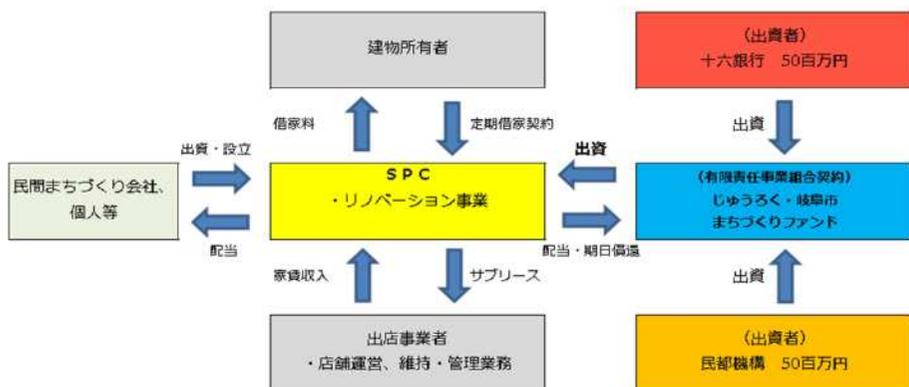
岐阜市中心市街地のにぎわい創出を目的に、マネジメント型まちづくりファンド「じゅうろく・岐阜市まちづくりファンド有限責任事業組合」を組成



地元柳ヶ瀬商店街で70年に亘り親しまれた老舗喫茶「マルイチ」を復活



岐阜市の観光拠点・鶺鴒屋地区の材木倉庫を情報発信・交流施設に転換



### 東海地域中核産業支援ファンドとの連携

美濃市が保有する築約100年の紙商の旧邸宅を、「美濃和紙」のショールームおよび宿泊施設としてリノベーション



「美濃和紙」

本件スキーム図



# 取引先の成長力強化や経営改善への幅広い取組み



## 地域やお取引先との対話

分析・評価を通じた地域やお取引先への深い理解

当行グループの経営資源を結集し、適切なコンサルティングを実施

取引先の本業支援や地域の課題解決を通じて、取引先の成長や経営改善、地域の活性化に貢献

2019年度末（2020年3月末）  
メインバンク先数

**1位**

\*2020年8月東京商工リサーチ調べ

\*東海3県に本店を置く  
地方銀行のうち

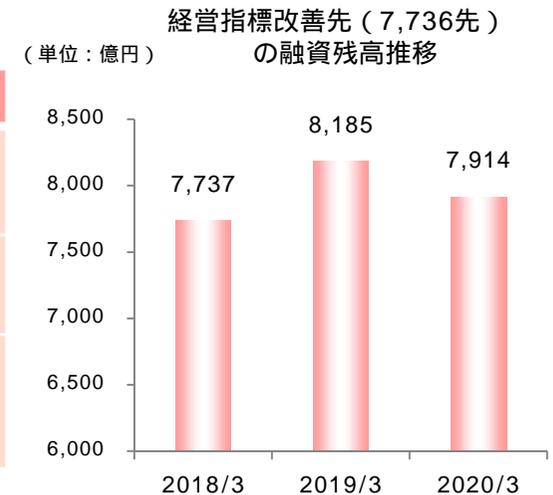
## 【共通ベンチマーク No.1】

当行がメインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業（先数はグループベース）及び、同先に対する融資額の推移

上記企業のうち、経営指標（売上高、売上総利益、営業利益のいずれか）の改善または就業者数の増加が見られた先数（先数はグループベース）及び、同先に対する融資額の推移

メイン先の約7割の  
経営指標が改善

2020年3月末	
メイン先数	11,065先
メイン先の融資残高	9,702億円
メイン先のうち経営指標が改善した先	7,736先 (69.9%)



## 【共通ベンチマーク No.2】

◆当行が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

2020年3月末			
条件変更総数	好調先 (120%超)	順調先 (80~120%)	不調先 (80%未満)
3,533先	117先	113先	3,303先

## 【共通ベンチマーク No.4】

◆ライフステージ別の与信先数および融資残高（先数は単体ベース）

2020年3月末	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	24,836先	1,037先	1,850先	14,673先	746先	3,548先
融資残高	22,857億円	674億円	2,067億円	15,645億円	510億円	2,015億円